

自己評価結果公表シート(平成24年度)

青山幼稚園

1. 本園の教育目標

保育理念「健やかに体いきいき心のびのび」とした子どもの育成を目指す。

《期待される子ども像》

- よい習慣や態度を身につけ友だちを思いやる子ども
- 元気よく遊び、進んで行動する子ども
- 身近な自然に興味・関心を持ち、自然に親しむ子ども
- よく見聞きして、よく考える子ども
- 自分の思いや考えをのびのびと表現する子ども

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

本園の教育目標、めざす子ども像を年度当初、全教職員で確認し、年間の日々の保育、行事等でのねらいを具体的に明確にし、保護者への情報提供等も積極的に進め、子どもの姿を通して成果と課題を総括し取り組んだ。

3. 評価項目及び取り組み状況

| 評価項目 | 取り組み状況 |
|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 年間指導計画の充実を図る | 本園の目標、重点課題をふまえ、各学年、各クラスでの年間計画、週指導案を作成し、達成状況を全教職員や各学年ごとに、子どもの姿を通して確認し、組織的、チームとしての取り組みを推進してきた。 |
| 保育活動の発信を進め、保育方針の啓発に努める | 保育活動の自由参観を積極的に呼びかけ、学級だよりを、写真等多用し「わかりやすい」「読みたい」と思えるよう工夫し保育理解の促進に努めた。 |
| 教員の資質向上に努める | 特別支援教育について、「個別の教育支援計画」の概要について校内で研修し、特別な支援が必要な子どもへの具体的な支援のあり方について研究を深めた。 教員の実践力を高めるために学年主任や先輩教員が中心になり、週の取り組みの確認と振り返りを行い、取り組み課題を明らかにして保育に努めた。長期休業中に、様々な研修に積極的に参加し、日々の保育に生かせるよう資質向上に努めた。 |
| 預かり保育の充実を図る | 昨年は17時30分までとしたが、本年度は保護者の就労支援として18時まで延长了。 預かり保育の指導者で、日々の活動について丁寧に打ち合わせをし、必要に応じて担任の意見も参考にして保育に取り組んだ。保護者との連携、連絡を丁寧に、活動内容について保育便り等で知らせたりして信頼される保育に努めてきた。 |
| 施設設備の充実を図る | 保育室が明るく、内部からは温かな雰囲気環境、外部の廊下等からは子どもの姿や保育活動が見えやすいよう、保育室扉を改修した。 節電対策にも積極的に協力した。 預かり保育室の環境整備の次年度実施のため設置計画を作成した。 |

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

一人ひとりの子どもの思い、願い、個性、良さ等を教職員が把握し、より具体的な保育目標を設定して取り組みを推進し、保育の充実を図ることができた。また、教職員が、組織、チームとして活動することの重要性や必要性を認識し、保育を推進してきた。

5. 今後取り組むべき課題

| | |
|-----------|---------------------------------------------------------|
| 情報発信の充実 | ホームページ等での保護者、地域、外部への情報発信に努め、保護者、地域に信頼される園づくりに、より一層取り組む。 |
| 特別支援教育の充実 | 研修で学んだ支援教育の視点やポイントを生かした、日々の保育・教育活動に、全教職員で取り組む。 |
| 施設設備の充実 | 保健室の整備、職員室の改築等、子どもや職員にとって、より充実した保育環境の整備に努める。 |

6. 学校関係者の評価

楽しく工夫された日々の保育や行事が多く、教職員のチームワークも良く評価できる。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。